

第 11 回 NSG 頤椎セミナー

「頤椎手術～この 10 年の進歩を検証する」の御案内



主催：特定非営利活動法人 名古屋脊椎グループ

共催：メドトロニックソファモアダネック株式会社

謹啓 大寒の候、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平成 29 年 2 月 11 日（土）に「第 11 回 NSG 頤椎セミナー」を開催いたしますので、ここに御案内申し上げます。今回は、「頤椎手術～この 10 年の進歩を検証する」をテーマとして、NSG 頤椎セミナー開催初期にご講演いただいた topic の 10 年を振り返り、経験豊富な先生方にご発表をお願いしました。活発な討議を通して、日常診療の糧にさせていただければ幸いです。

なお、セミナー後には懇親会を予定しております。お忙しいとは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

詳細につきましては、別紙プログラムにてご案内申し上げます。

謹白

第 11 回 NSG 頤椎セミナー 日時：平成 29 年 2 月 11 日（土） 10：50-17：35
場所：名古屋大学医学部附属病院 中央診療棟 3 階講堂
名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地 Tel：052-741-2111

懇親会 日時：平成 29 年 2 月 11 日（土） 18:30-20:30
場所：料亭「大森」



----- 切り取り線 -----

参加申し込みます（○で囲んでください）

- 1) セミナー (参加費 2,000 円)
- 2) 懇親会 (参加費 5,000 円)

※日整会認定単位 1 単位 1,000 円

ご所属 _____

ご氏名 _____

Program (総合司会 名古屋大学 整形外科 今釜 史郎先生)

開演 10:50～

Session 1 「首下がり症候群(DHS)の病態と治療」

座長：松原 祐二先生 (刈谷豊田総合病院 整形外科)

11:00～11:30

講演 1：石井 賢 先生 慶應義塾大学 整形外科

首下がり症候群(DHS)の病態と治療

11:30～12:00

講演 2：遠藤 健司 先生 東京医科大学 整形外科

首下がり症候群の病態と治療

ランチョンセミナー 座長：松山 幸弘先生 (浜松医科大学 整形外科)

12:05～13:05

講演 3：山崎 正志 先生 筑波大学 整形外科

頸椎手術～この10年の進歩を検証する

Break 13:05～13:20 メーカーハンズオン

Session 2 「頸椎腫瘍手術・治療の進歩」

座長：酒井 義人先生 (国立長寿医療研究センター 整形外科)

13:20～13:50

講演 4：村上 英樹 先生 金沢大学 整形外科

頸椎腫瘍に対する根治的手術の実際

13:50～14:20

講演 5：松本 嘉寛 先生 九州大学 整形外科

原発性悪性頸椎腫瘍(悪性砂時計腫を含む)の診断・治療戦略

- 根治を目指した multi-modal approach -

Session 3 「頸椎を含めた global sagittal alignment」

座長：金村 徳相先生 (江南厚生病院 整形外科)

14:20～14:50

講演 6：吉井 俊貴 先生 東京医科歯科大学 整形外科

頸椎疾患におけるアライメントの重要性

14:50～15:20

講演 7：長谷川 智彦 先生 浜松医科大学 整形外科

胸腰椎成人脊柱変形における頸椎アライメント ～土台が変わると頸椎がどの様になるか～

Break 15:20～15:35

Session 4 「後頭骨—頸椎固定術後の嚙下障害は克服できたか」

座長：神谷 光広先生（愛知医科大学 整形外科）

15：35～16：05

講演 9：金山 修一 先生 神戸労災病院 整形外科

後頭頸椎固定術後の嚙下障害を克服する -患者さんのおかげです-

16：05～16：35

講演 8：根尾 昌志 先生 大阪医科大学 整形外科

後頭骨—頸椎固定術後の嚙下障害は克服できたか

Session 5 「頸椎術後C5麻痺は克服できたか」

座長：吉原 永武先生（豊橋市民病院 整形外科）

16：35～17：05

講演 10：山崎 昭義 先生 新潟中央病院 整形外科脊椎脊髄外科センター

頸椎後方手術後のC5麻痺予防対策—どこまで進んだか？—

17：05～17：35

講演 11：武中 章太 先生 大阪大学 整形外科

頸椎術後上肢麻痺の克服とこれまでの知見の統合

【 日整会教育研修単位のご案内 】

- ・ ランチオンセミナー 1単位（ 2：外傷性疾患（スポーツ傷害を含む）、
または、7：脊椎・脊髄疾患、もしくは脊椎脊髄病医継続単位）
- ・ Session 2 1単位（ 5：骨・軟部腫瘍、または、7：脊椎・脊髄疾患、
もしくは脊椎脊髄病医継続単位）
- ・ Session 4 1単位（ 7：脊椎・脊髄疾患、または、8：神経・筋疾患、
もしくは脊椎脊髄病医継続単位）
- ・ Session 5 1単位（ 7：脊椎・脊髄疾患、または、
13：リハビリテーション（理学療法、義肢装具を含む）、
もしくは脊椎脊髄病医継続単位）

※上記 4単位のうち、4単位まで申請可能です。

※日本整形外科学会 研修単位取得をご希望の先生は、必ず日整会ICカードをご持参下さい。